

令和3年度 自主防災隊4月例会



新年度自主防災隊

コロナ緊急事態

春の訓練は中止

新年度自主防災隊4月例会は4月17日、つくし野コミュニティセンターで開催され、星野耕一防災隊長の挨拶に続き16名のメンバーが ①新年度自主防災隊組織、②新年度活動、③避難所開設WGについて討議を行い、コロナ禍の防災活動について話しあった。

- ① 奥見さん「防災隊の活動は自治会の安心安全上で重要だ」、渡邊本部長「実際の災害に備えて訓練をする」という発言があり、西野さんから自主防災隊について説明と役割分担の確認がありました。高石さんから広報の活動内容の説明を求める発言があり、細見さんから防災かわら版と広報活動について説明があった。
- ② 西野さん「昨年の春の訓練は中止した、秋は1・2丁目だけで防災訓練を実施しOKプレートによる安否確認と班会議を行い参加世帯数は412(64%)だった、今年はスタンドパイプ訓練を春と秋に実施したい」、奥見さん「秋は4自治会合同の防災訓練を実施している、つくし野小が避難施設になっている、煙体験や起震車等の訓練は消防署の指導下で実施している、春の訓練は安否確認がメインの訓練となっている、春はコロナの状況で実施可否を決める、春の訓練後は一斉清掃を行っている」、佐野さん「5月の訓練実施は無理では」、渡邊本部長「年一回はやるほうがいい」・・・「現状(緊急事態)から春の安否訓練は中止する」ということになった。

その他の意見として、「スタンドパイプとAED訓練は要検討」/「年2回の訓練を1回にする住民へのアナウンスが必要ではないか、コロナを機に訓練を見直さないか」(細見)/「訓練の回数は決めてない」(奥見)/「総会議案で活動報告しているのでアナウンスは必要ない」(三谷)/「訓練経験が必要で、できれば2回のほうがよい」(本田)/「コロナ等のパンデミックも防災なので加味することが重要」(三谷)/「訓練を見直すいい機会」(倉光)/「ワクチン接種後のタイミングで決めればよい」(西)/「コロナ禍で、どのように訓練するか要検討」(渡邊本部長)

- ③ 渡邊本部長、奥見さん、西野さんから4自治会WG会議の経過を説明、開設マニュアルに実地的な補足説明書を作成中、1・2丁目は在宅避難を推奨。(文・写真：細見)